

◆指導者級合否決定評価の枠組みについて

- 指導者級の評価は、指導者級養成講座受講時の取り組み方や理解度、最終日におけるインストラクションの実技試験、及び電話対応スキルチェックの評価によって決定します。

I. インストラクションスキル実技試験評価

3級～1級のもしもし検定の指導者として、受講生の心に響く指導が出来るかを評価します。
今回のインストラクションスキル試験の課題は、受講初日に発表します。
テーマについて、3分以内で、実技を行います。
3分を超えた場合は、10秒ごとに1点減点いたします。

インストラクションスキルの評価は、以下の3評価で行います。

- ①第三者評価（専門委員評価）
- ②相互評価（受講者間評価）
- ③自己評価

チェックシートの最後の項目は、指導者としての適格性をみるものであり、合否判定の際、他の項目よりウェイトが高くなります。

II. 電話対応スキルチェック評価

3級～1級の電話対応の実技試験の試験官としての適切な評価が出来るかを評価します。
模擬の電話対応を聞いて頂き、別途「対応スキルチェック試験報告書」に点数とアドバイスシートを作成して頂きます。

III. 受講時の取り組み方や理解度の評価

受講時の取り組み方や、講義内容の理解度の評価を行います。
これは、今後ご自身が指導していく場面を想定して記入して下さい。